

まちだSDGsアワード2022

SDGsへの企業の取り組みを顕彰



大賞受賞の石坂市長、市川理事長、左から金野氏、市川理事長

七月十五日

から一カ月間公募した二七件の中から、一次審査で、町田青年会議所ビジネス×SDGs推進委員会において一〇社を選定。最終審査はその中から、以下の審査委員により、五社の受賞企業を決定した。審査委員は、町田市長石坂丈一氏、企業代表・アイワ広告株式会社代表取締役社長小山雅明氏、内閣府地方創生推進事務局参事官補佐田中一成(かずなり)氏、環境省関東地方環境事務所地域

循環共生圏構想推進室地域循環共生圏構想推進官楠本浩史(ひろし)氏、町田青年会議所理事長市川展久氏、玉川大学、法政大学在学生の方々。審査基準は、以下の5点。①幅広く展開可能な取り組みか、②地域や社会にインパクトを与える取り組みか、③多様な主体との連携がとられているか、④経済・社会・環境の側面の相乗効果が生み出されているか、⑤町田市に寄与する活動を実施しているか。

も減少していく中、当青年会議所は、社会貢献とビジネスを繋げる事で新たな価値を見出し、町田の発展に繋げると云う趣旨で、当アワードを開設させて頂きました。また、町田は市内に大学が多い事から18歳から20歳の転入者が多い。但し、卒業後は転出してしまします。それをどう解決するかと云う事で、次代を担う若者達が、我々青年会議所や企業と一緒に協働する事で新たな価値を生み出すと思ひ、玉川大学と法政大学の皆様にもご協力頂きました。本日が、SDGsを通して、新たな一歩を踏み出す一日となります事を祈念致しまして、挨拶に代えさせて頂きます。各賞の受賞者は、以下の方々(括弧内はプレゼンター「敬称略」)。

ゴールデンSDGs大賞 株式会社ユニテック ス技術部新規開発グループ エバンジェリスト金野茂生氏(石坂丈一)ノネクスト エネレーション賞

株式会社創建営業課長 深澤伸吾氏(佐々木二美乃)玉川大学生)ノまちだサルビア賞 二レンブラントホテル東京町田総支配人田川祐介氏(楠本浩史)ノまちだキングフィッシャー賞 シー・エイチ・シー・システム株式会社代表取締役社長渋谷俊彦氏(田中一成)ノまちだゼルコバ賞 二FC町田ゼルビア代表取締役社長大友健寿氏(小山雅明)。

田中氏ノ御社は、設備施工監理事業者としてのノウハウを生かし、二酸化炭素排出削減に取り組む、経済効果もしっかり出されております。楠本氏ノ食品ロス削減、LED化、節水、ペーパーロス等、日々の取り組みで成果を挙げ、またポイント付与等で協力も募り、寄与されております。佐々木氏ノ環境を考慮した付加価値の高い住まいを提供する事等で二〇三〇年までにCO2 46%削減や課題や展望への目標を明確化しています。石坂氏ノコンピュータのデジタルデータを完全に保管する為に多量のCO2が排出される中、御社の技術で9割削減される事は画期的です。

小山氏ノ御社は、町田市の進める英語教育の『英語のまちだ』に基づき、子供達に楽しく英語を学んで貰える環境作りを提案されております。

もっともっとと広く知って頂きたいと思ひます。その事が、町田市がカーボンニュートラルシティになる為の非常に大きな要素だと考えております。この先の企業発展はSDGsと不可分と云う事も改めて確認しました。未来をいかに持続させていくかは今回のメインテーマでもあります。皆様のご支援を得ながら共に持続可能な社会を作って参りたいと思ひます。

最後に、石坂丈一町田市長が祝辞を述べた。「各々の企業の努力を、

「町田は商都と呼ばれておりますが、これから始まる人口減少社会で売上